



梅雨の時期・・・健康な生活を心がけよう！

今年の梅雨入りは、6月8日でした。平年よりも1日遅く、昨年より2日遅い梅雨入りだそうです。関東甲信地方の梅雨明けの平年は7月19日ごろですので、蒸し暑いジメジメとした日があると一カ月ほど続くことになりそうです。

梅雨の時期は、食べ物が傷みやすくなったり、洗濯物が乾きにくくなったりする季節です。また、近年は、梅雨時期の大雨により、日本各地で大きな被害が出ています。このような理由から「梅雨入り」と聞くとマイナスのイメージをもたれる方も多いのかもしれませんが、水は生命の源であって、そんな『恵みの雨』をたくさん降らせてくれるのが梅雨の時期です。この時期の雨量が、稲や野菜など作物の成長を左右することもあるため、必要不可欠な時期でもあります。とは言え、雨が降れば、湿度が上がりジメジメします。朝夕の気温差が激しいこともこの時期の特徴です。気圧変化も大きいのも、梅雨時ならではのものです。このような気候は人の健康に様々な影響を与えます。

熱中症などにも配慮して、健康な生活が送れるよう、気を付けて教育活動を進めて参ります。ご家庭でも「早寝、早起き、朝ご飯」等、子どもたちの健康管理にご協力をお願いいたします。

傘のさし方ワンポイントアドバイス！！

右手で傘を持つ人は右肩の前に傘を立て、左手で傘を持つ人は左肩の前に傘を立てていませんか？

これは“ノーマル持ち”という持ち方です。“ノーマル持ち”では傘の下の空間を半分ほどしか使えないので傘を持っていない方の肩などが濡れやすくなるそうです。そのため、右手で傘を持つ人は左腕側に傘を持ってきてください（左手で傘を持つ人は右腕側に傘を持ってくる）。これを“クロス持ち”といいます。こうすると傘の下の空間が、体全体を覆い、濡れにくくなるそうです。

傘のクロス持ち



水の事故 気を付けよう！！

楽しい夏がまもなくやってきます。今年も、楽しい夏にするために、水の事故がないよう、十分に気を付けましょう。水の事故の95%が水に入った瞬間に決まるそうです。水の深さを確かめず飛び込む行為が事故につながります。万が一おぼれそうになってし

まった時には、合言葉は、「ういて待て（背浮き）」です。

手は、水面より下に。ペットボトルやかばんがあれば、胸に抱えます。靴ははいたまま。軽い靴は浮き具代わりになります。



5年生が田植えをしました

6月12日(月)、浅川友一さんにご指導いただき、5年生が田植えを行いました。

始めに、浅川さんより苗の植え方、植えるときの苗の間隔などを教えていただきました。次に、田んぼに移動して、田植え(手植え)をしました。子どもたちの中には、初めて水を張った田んぼの中に入る子どもも多く、ぬかるみに足を取られ悲鳴を上げる子どももいました。しかし、慣れてくると、次第に苗の植え方も上手になってきました。そして、1時間ほどすると、田んぼ全体に苗がきれいに並びました。

短い時間でしたが、昔ながらの田植え(手植え)を体験でき、子どもたちにとっては、心に残る活動になったことと思います。今回の田植えには、5年2組内藤真結さんのお父さんも応援に駆けつけてきてくれました。浅川さん、内藤さん、ありがとうございました。

このように地域の皆様に支えられながら、本校の教育活動が進められています。



思いやりの心で大切に育てよう！

「人権の花」贈呈式

6月26日(月)に人権の花贈呈式が本校で行われました。これは毎年、児童生徒の基本的な人権尊重の精神を涵養するため、山梨県各地の学校で実施している行事で、今年度は本校で実施することになりました。

当日は、人権擁護委員の方々12名が来校し、看板と花の苗、プランターを児童の代表に贈呈していただきました。

最後に子どもたちが楽しみにしていたバルーンリリースも行いました。いただいた「人権の花」を思いやりの心で大切に育てていきます。





